



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月5日

上場会社名 日産化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4021 URL <http://www.nissanchem.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 木下小次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 吉田洋憲 (TEL) 03-3296-8356
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	45,085	△0.2	9,508	0.9	9,357	△8.6	6,826	△5.3
28年3月期第1四半期	45,190	6.4	9,426	5.8	10,240	10.2	7,208	14.0

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 4,889百万円(△39.5%) 28年3月期第1四半期 8,082百万円(17.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	44.31	—
28年3月期第1四半期	45.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	207,197	154,599	73.9
28年3月期	228,169	156,924	68.1

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 153,148百万円 28年3月期 155,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	18.00	—	26.00	44.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	24.00	—	26.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	86,000	2.8	13,300	△6.8	13,300	△12.1	10,200	△8.5	66.45
通期	187,500	6.0	29,700	3.8	30,400	2.9	23,000	2.9	150.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成28年8月2日までの自己株式取得を考慮した結果、1株当たり当期純利益のみ変更しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	155,000,000株	28年3月期	156,000,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,550,648株	28年3月期	1,620,587株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	154,049,621株	28年3月期1Q	157,214,729株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

平成28年8月5日(金)に、決算説明資料をホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 利益配分に関する基本方針	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日～平成28年6月30日)の国内景気は、個人消費の伸び悩み、インバウンド需要の鈍化、円高・株安の進行に加え、英国のEU離脱など、先行きの不透明感が増す状況となりました。

当社グループの事業につきましては、化学品部門では、基礎化学品が前年同期比で増収となりました。機能性材料部門は、ディスプレイ材料が好調に推移しました。農業化学品部門は、農薬、動物用医薬品原薬ともに順調でした。医薬品部門は、「リバロ」(高コレステロール血症治療薬)原薬の出荷が前年を上回りました。

この結果、当期間における業績は、売上高450億85百万円(前年同期比1億5百万円減)、営業利益95億8百万円(同81百万円増)、経常利益93億57百万円(同8億82百万円減)、親会社株主に帰属する四半期純利益68億26百万円(同3億82百万円減)となりました。

セグメント別概況は以下のとおりであります。

化学品部門

基礎化学品では、メラミン(合板用接着剤原料等)の輸出および「アドブルー」(高品位尿素水)の販売が増加しました。ファインケミカルでは、「テピック」(封止材用等特殊エポキシ)の販売が減少しました。一方、ナフサをはじめとする原燃料価格の下落を受けて、収益性が向上しました。

この結果、当部門の売上高は85億23百万円(前年同期比1億47百万円減)、営業利益は14億92百万円(同30百万円増)となりました。

機能性材料部門

「サンエバー」(液晶表示用材料ポリイミド)は、スマートフォンなどの中小型向けが堅調に推移しました。半導体用反射防止コーティング材(ARC[®])、多層材料(OptiStack[®])、無機コロイド材料は、前年同期比で減収となりました。

この結果、当部門の売上高は126億48百万円(前年同期比3億11百万円減)、営業利益は29億81百万円(同3億88百万円減)となりました。

*ARC[®]およびOptiStack[®]はBrewer Science, Inc. の登録商標です。

農業化学品部門

「ラウンドアップ」(非選択性茎葉処理除草剤)および「アルテア」(水稲用除草剤)の販売が順調に推移し、また新規に販売開始した「トレファノサイド」(畑作用除草剤)が増加しました。フルララネル(動物用医薬品原薬)は、好調な出荷となりました。

この結果、当部門の売上高は144億64百万円(前年同期比8億64百万円増)、営業利益は44億88百万円(同91百万円増)となりました。

医薬品部門

「リバロ」原薬は、後発品の影響を受けて厳しい状況が続いておりますが、当四半期においては、国内外ともに販売量が前年を上回りました。「ファインテック」(医薬品研究開発参加型事業)は、出荷時期が後ろ倒しになったため減収となりました。

この結果、当部門の売上高は22億17百万円(前年同期比1億66百万円増)、営業利益は6億47百万円(同2億62百万円増)となりました。

卸売部門

当部門の売上高は143億56百万円(前年同期比3億89百万円減)、営業利益は4億34百万円(同30百万円減)となりました。

その他の部門

当部門の売上高は39億73百万円(前年同期比1億35百万円減)、営業損失は24百万円(同7百万円改善)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が減少したことなどにより、前連結会計年度末比209億71百万円減の2,071億97百万円となりました。

負債も短期借入金が減少したことなどから、前連結会計年度末比186億46百万円減の525億98百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末比23億25百万円減の1,545億99百万円となりました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比5.8ポイント増加し、73.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費、運転資金の増減などから法人税等の支払額を控除した結果、98億79百万円の収入（前年同期は105億53百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入、研究開発部門などの設備投資による支出などにより、3億69百万円の支出（前年同期は19億34百万円の支出）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローでは、借入金の返済、配当金の支払などにより、210億81百万円の支出（前年同期は178億39百万円の支出）となりました。

現金及び現金同等物の四半期末残高は、換算差額3億53百万円、連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額25百万円を調整した結果、前連結会計年度末に比較して119億48百万円減少し、233億86百万円（前年同期は222億43百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想は、前回発表(平成28年5月12日)の業績予想から変更はありません。

(4) 利益配分に関する基本方針

当社は、中長期的に事業収益を拡大し、財務体質を強化することで、企業価値の向上を図っております。株主還元につきましては、平成28年4月に始動した中期経営計画「Vista2021」において、配当性向を平成31年3月期に向けて40%まで段階的に引き上げることに加え、総還元性向70%の維持を目標といたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,335	23,386
受取手形及び売掛金	57,606	54,278
商品及び製品	30,198	29,018
仕掛品	43	419
原材料及び貯蔵品	8,266	7,802
その他	10,765	8,219
貸倒引当金	△34	△31
流動資産合計	142,181	123,094
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,635	22,246
その他(純額)	24,826	25,045
有形固定資産合計	47,461	47,292
無形固定資産		
のれん	2	1
その他	901	768
無形固定資産合計	903	770
投資その他の資産		
投資有価証券	33,251	31,773
その他	4,539	4,435
貸倒引当金	△167	△167
投資その他の資産合計	37,623	36,041
固定資産合計	85,988	84,103
資産合計	228,169	207,197

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,350	13,500
短期借入金	25,998	13,890
未払法人税等	4,576	1,759
賞与引当金	1,874	584
役員賞与引当金	21	7
環境対策引当金	350	284
その他	9,765	9,730
流動負債合計	57,937	39,758
固定負債		
長期借入金	7,100	7,100
事業構造改善引当金	680	678
関係会社事業損失引当金	309	309
退職給付に係る負債	102	102
その他	5,115	4,649
固定負債合計	13,307	12,840
負債合計	71,244	52,598
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,942	18,942
資本剰余金	13,611	13,611
利益剰余金	115,878	115,814
自己株式	△4,281	△4,456
株主資本合計	144,151	143,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,515	9,544
為替換算調整勘定	171	△844
退職給付に係る調整累計額	554	535
その他の包括利益累計額合計	11,241	9,236
非支配株主持分	1,531	1,450
純資産合計	156,924	154,599
負債純資産合計	228,169	207,197

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	45,190	45,085
売上原価	25,643	24,843
売上総利益	19,547	20,241
販売費及び一般管理費	10,120	10,733
営業利益	9,426	9,508
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	235	277
為替差益	203	-
持分法による投資利益	314	143
その他	225	151
営業外収益合計	981	576
営業外費用		
支払利息	62	50
有価証券評価損	-	172
為替差損	-	425
その他	104	77
営業外費用合計	167	727
経常利益	10,240	9,357
特別利益	-	-
特別損失	-	-
税金等調整前四半期純利益	10,240	9,357
法人税、住民税及び事業税	2,315	1,711
法人税等調整額	666	768
法人税等合計	2,982	2,480
四半期純利益	7,257	6,877
非支配株主に帰属する四半期純利益	48	50
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,208	6,826

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	7,257	6,877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	498	△970
為替換算調整勘定	347	△998
退職給付に係る調整額	△20	△18
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	825	△1,987
四半期包括利益	8,082	4,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,028	4,918
非支配株主に係る四半期包括利益	54	△28

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,240	9,357
減価償却費	2,140	1,948
受取利息及び受取配当金	△237	△281
支払利息	62	50
固定資産処分損益(△は益)	33	56
売上債権の増減額(△は増加)	2,870	2,779
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,143	912
仕入債務の増減額(△は減少)	△472	△1,633
その他	420	745
小計	13,913	13,935
利息及び配当金の受取額	298	341
利息の支払額	△33	△27
法人税等の支払額	△3,624	△4,369
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,553	9,879
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△3	△2
投資有価証券の売却による収入	105	2,638
有形固定資産の取得による支出	△1,813	△2,839
有形固定資産の除却による支出	△25	△54
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△37	△63
その他	△160	△46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,934	△369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8,288	△12,009
配当金の支払額	△3,469	△4,013
非支配株主への配当金の支払額	△70	△52
自己株式の取得による支出	△4,885	△2,895
自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出	△1,115	△2,104
その他	△10	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,839	△21,081
現金及び現金同等物に係る換算差額	60	△353
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,160	△11,923
現金及び現金同等物の期首残高	31,343	35,335
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	61	-
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△25
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,243	23,386

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年4月25日の取締役会決議に基づき、平成28年5月10日付で1,000,000株の自己株式の消却を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、利益剰余金が2,719百万円、自己株式が2,719百万円減少しております。

また、平成28年5月12日の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が2,894百万円増加しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

1) 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	6,336	11,450	12,415	2,051	11,156	1,780	45,190	—	45,190
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,334	1,510	1,183	—	3,588	2,328	10,946	△10,946	—
計	8,670	12,960	13,599	2,051	14,745	4,109	56,137	△10,946	45,190
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	1,462	3,370	4,396	384	465	△31	10,049	△622	9,426

(注) 1. セグメント利益の調整額△622百万円には、セグメント間取引消去△89百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△533百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2) 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額
	化学品 事業	機能性 材料事業	農業 化学品 事業	医薬品 事業	卸売事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	6,261	11,096	12,975	2,217	10,915	1,617	45,085	—	45,085
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,262	1,552	1,488	—	3,440	2,356	11,098	△11,098	—
計	8,523	12,648	14,464	2,217	14,356	3,973	56,183	△11,098	45,085
セグメント利益又は セグメント損失(△) (営業利益又は営業損 失)	1,492	2,981	4,488	647	434	△24	10,021	△513	9,508

(注) 1. セグメント利益の調整額△513百万円には、セグメント間取引消去42百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△555百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。